

【道徳】

道 徳

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい道徳
17	教 出	中学道徳 とびだそう未来へ
38	光 村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日 文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
224	学 研	新版 中学生の道徳 明日への扉
232	あ か 図	中学生の道徳
233	日 科	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 2 生き方を見つめる 3 生き方を創造する

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方及び記載例
		② 発問の示し方	学年、数、記載箇所及び発問
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方及び具体例
		④ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、記入欄の数等及び具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程
		⑥ 体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 分量や教材の数	判型、ページ数及び4つの視点ごとの教材数
		⑧ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめの問題の扱い及び教材等の例
(オ)	内容の表現・表記	⑨ 巻頭等、巻末等の取扱いの工夫	巻頭等、巻末等の示し方
		⑩ 教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方及び活用の具体例

【道徳】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル、示し方及び記載例

		第1学年		
		オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
東 書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1年間で学ぶこと」 ○ 「道徳科とは」 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科の授業はこんな時間に」 ・「教科書の使い方」 ・「デジタルコンテンツで学びを広げよう」 ・「学習の流れ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目を示す言葉と教材名等を示し、中学生になってやってみたいことを書く欄を1箇所設けている。 ○ 1ページに、道徳科について示している。 ○ 見開き2ページに、学習の流れ等を「①気づく」「②考える」「③深める・広げる」の3つでイラストや吹き出しとともに示している。 ○ 1ページに、教科書の使い方について、マーク等とともに示している。 ○ 1ページに、デジタルコンテンツについて、イラストや吹き出し等とともに示している。 ○ 第1教材の後の1ページに、学習の流れ等をイラストや吹き出しとともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分自身に関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、責任をもつ ○ もっとすてきな「自分」に出会うために、中学生になってやってみたいことは、どのようなことですか？ ○ 道徳科の時間は自分自身の心を見つめ、人間としての生き方を考える時間です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「こんな学び方もあるよ」 <ul style="list-style-type: none"> ・演じて考えよう ・問題を見つけて考えよう ○ 「4つの視点マーク」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科で学習する4つの視点（2～3ページ参照）を表しています。 ○ この教科書では、学習を広げるデジタルコンテンツを用意しています。 ○ ①学習のテーマ「新しいものを生み出すときに」について考えよう。 ②教材文を読みながら、考えたことを、「つぶやき」やノートにメモしよう。 ③考えよう ④見つめよう ⑤学習をふり返ろう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さあ、道徳を始めよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ・「どうやって学ぶの？」 ・「道徳科の学びをもっと広げよう」 ○ 「この教科書で学べるテーマ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページに、学習の流れ等を「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」の4つでイラストや吹き出しとともに示している。 ○ 1ページに、「学習者用端末を活用しよう」「持続可能な社会について考えよう」をイラストや吹き出し等とともに示している。 ○ 1ページに、テーマを7つ、教材名等とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①考えたいことは何かを見つけよう。 ②自分の考えをもとう。 ③友達と意見を出し合い、多様な考えを知ろう。 ④話し合ったことをもとに、考えを深めよう。 ⑤学んだことをこれからの生活にいかそう。 ○ 「学習者用端末を活用しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・まなびリンクの活用 ・自分の考えを整理する ○ 「持続可能な社会について考えよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学習で考えるときに17の目標を意識したり、話し合いの際に17の目標から視点を選んだりして道徳科の学びを広げよう。 ○ 「生命の尊さ」 <ul style="list-style-type: none"> ・いのちを考える ・難民とともに ～緒方貞子～

【道徳】

		第1学年		
		オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本書で学ぶ皆さんへ」 ○ 「道徳の学習を始めよう」 ・「道徳で学ぶ 22 のキーワード」 ・「道徳 道案内」 ○ 「道徳で大切にしたいこと」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、手引きを「①考えよう」「②見方を変えて」「③つなげよう」の3つで示している。また、二次元コード、タブレット端末の活用等について示している。 ○ 第1教材として、見開き2ページに、「道徳を学ぶときには」として、「ポイント1 答えは一つではない」「ポイント2 自分と向き合い、他者と向き合う」「ポイント3 学びをつなげる」の3つでイラスト等とともに示している。 ○ 第1教材として、見開き2ページで、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目をイラスト等とともに示している。 ○ 第1教材として、見開き2ページに、ユニットのテーマを9つ、内容項目や教材名等とともに示している。 ○ 第2教材の後の1ページに、イラストや吹き出しとともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材を通して考えを深めることができるよう、次のようなてびきを用意しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・教材冒頭の二次元コードを読み取ると、学習の参考となる資料などを視聴することができます。 ・タブレット端末は、あなたの学びをサポートする道具です。 ○ 「ポイント1 答えは一つではない」 <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、一人一人、感じ方も考え方も異なる。だからこそ、一つの正解をみざすのではなく、自分なりの答えを見つけよう。 ○ 道徳は、よりよい生き方について、22のキーワードで考えていきます。 ○ 「中学生として、どんな自分でありたい？」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習を始めよう ・父の言葉 ○ 「自分に問う」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分は、どうしてそう考えるのか。 ・自分なら、どうするか。 	
	日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科での学びを始めよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ・「どんなことをするの？」 ・「どうやって学ぶの？」 ・「ミニ教材で考えてみよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページに、道徳科についてイラストや吹き出しを使って示している。 ○ 1ページに、学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つで示している。 ○ 見開き2ページに、主題や教材、発問と学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つでイラストや吹き出し等とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・道徳科では、「よりよく生きる」ために大切なことについて、みんなで考え合います。 ○ ・道徳科では、次の①～③のような流れで学びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・別冊『道徳ノート』を使って自分の考えをまとめましょう。 ○ 「みんなで話し合うときに大切なこと」 <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの考えを伝え合おう。 ・友達の考えをよく聞こう ○ ・美しいものに感動する心 <ul style="list-style-type: none"> ・難しい宿題 ・あなたが最も美しいと感じたものはなんだろう。 ○ 「①気づく」 <ul style="list-style-type: none"> ・【学びのキーワード】今日は「美しいものに感動する心」について、みんなで考えてみましょう。

		第1学年		
		オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さまざまなテーマで学ぼう」 ○ 「よりよく生きるための22の鍵」 ○ 「道徳科で学ぶこと考えること」 <p>・「考えを深める4つのステップ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、13個のテーマをイラストや写真等とともに示し、今、気になっていること、夢中になっていることを書く欄を1箇所設けている。 ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目を示す言葉や教材名等を示している。 ○ 1ページに、「考える方法はいろいろ」「パソコンやタブレットを活用しよう」をイラスト等とともに示している。 ○ 1ページに、学習の流れ等を「1 見つけよう(教材と出会って)」「2 考えよう(教材を基に)」「3 話し合おう(話し合い、磨き合う)」「4 生き方につなげよう(振り返ろう、踏み出そう)」の4つでイラストや吹き出しとともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いのち」 ○ 今、気になっていること、夢中になっていることは何だろう。 ○ 「自ら考え、実行し、責任を持つ」 <ul style="list-style-type: none"> ・裏庭での出来事 ・ネット将棋 ○ 「考える方法はいろいろ」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを…… ・ペアやグループ、クラスで…… ○ 「パソコンやタブレットを活用しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・使うときは注意しよう ・こんなことができます ○ 「見つけよう(教材と出会って)」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活での問題をつなげてみよう。 ・社会の課題や気になることと重ねてみよう。 ・教材から考えたいテーマを見つけ出そう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科の時間」は22のキーワードで学ぶ ・一年生のあなたへ <p>○ 「いろいろなテーマから学ぶ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目をマークとともに示している。 ○ 見開き2ページに、道徳科について、「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「自分の生き方を考える」の3つでイラストとともに示している。 ○ 見開き2ページに、10個のテーマを教材名等とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分自身に関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・自主、自律、自由と責任 ・節度、節制 ○ ・中学校に入学した今、いろいろなことに戸惑うこともあるかもしれませんが。道徳科の時間は、そんなあなた自身を見つめる時間。いろいろな人の生き方に触れ、他の人の思いや考え方に耳を傾け、自分と対話することができる時間です。 ○ 「自分を見つめて考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・教材の主人公や登場人物と自分を重ねたり、比べたりしてみよう。 ○ 「「いじめ」を考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨシト ・ある日のバッテリーボックス 	
あ か 図				

第1学年			
	オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さまざまなテーマから考えを深めよう」 ○ 「クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳の授業ってどんなもの？」 ・「授業はどうやって進めるの？」 ・「試してみよう」 ・「「ウェルビーイングカード」を使ってみよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、テーマを8個、教材名等とともに示している。 ○ 1ページに、道徳科の時間についてイラストとともに示している。 ○ 見開き2ページに、道徳科について、「自分の考え、意見を言おう」「友達の考え、意見をしっかり聞こう」「自分と違う考え、意見も認め、きちんと聞こう」の3つをイラストとともに示している。 ○ 1ページに、「試してみよう」を写真等とともに記載している。 ○ 1ページに、「「ウェルビーイングカード」を使ってみよう」をイラストや写真とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめ・人権」 <ul style="list-style-type: none"> ・自由ってなあに ・いつも一緒に ○ 「道徳」の授業は、「みんなそれぞれ違っているのが当たり前」というところから始まります。 ○ 「自分の考え、意見を言おう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「よりよい在り方」に「正解」はありません。 ○ 「宿題」 <ul style="list-style-type: none"> ・僕は生物部で飼っている魚のエサやりなどをしているので、朝は七時半頃には登校している。 ○ ①まず教材を読んで、その内容から自分が「感じたこと」や「気づいたこと」を、カードの言葉一枚一枚を見ながら、三枚選びましょう。 ②選んだカードについて、どうしてそれを選んだのか、自分の経験や考えてみたいと思った理由を考えましょう。 ③それが終わったらカードを三枚とも手元に並べ、隣の友達または班の友達と、それぞれが考えたことを出し合ひましょう。

【道徳】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②発問の示し方
方法	学年、数、記載箇所及び発問

教材名「二通の手紙」			
内容項目C「遵法精神、公德心」			
	学年	数	記載箇所及び発問
東書	3	3	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんは二通の手紙を机の上に並べて、どのようなことを考えていただろう。 ・社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは、どうしてだろう。 ・決まりは、何のためにあるのだろう。
教出	3	4	【冒頭の教材名の下】 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場合でも、きまりは優先されるべきなのだろうか。 【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんが晴れ晴れとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはなぜだろう。 ・姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたはどう思うだろうか。 ・きまりや法は、なんのためにあるのだろう。
光村	3	3	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・規則は、何のためにあるのだろう。 ・元さんが、規則を知っていながら姉弟を動物園の中に入れたのは、どんな思いからだろう。 ・元さんが、「この年になって初めて考えさせられ」たのは、どんなことだったのだろう。
日文	3	6	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・二通の手紙を見比べた元さんが、この年になって初めて考えさせられたこととは、どんなことだろう。 ・法やきまりの意義とは何か、考えたことをまとめてみよう。 【教材文に続く見開きページ】 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して、法やきまりの意義について考えてみよう。 ・姉弟を入園させた元さんの、何が問題だったのだろう。 ・ノートやタブレット端末を使い、付箋で意見を整理しながら友達と話し合ってみよう。 ・二通の手紙を見ながら、元さんの思いを考えてみよう。
学研	3	2	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・二通の手紙に、元さんが考えさせられたこととは何だろう。 ・この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか。
あか図	3	4	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんや佐々木さんの変化について考えよう。 ・元さんが「この年になって初めて考えさせられること」とは、どのようなことだろう。 ・動物園の規則はなんのために定められているのだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。 ・世の中にある法やきまりがどのような視点で定められているのかを考えてみよう。
日科	2	2	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ元さんは潔く職場を去ったのだろうか。 ・きまりを守ることについて、お互いに考えを出し合ってみましょう。

【道徳】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③考えを伝え合う活動の工夫
方法	話し合いを促す示し方及び具体例

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
東 書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりの「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」等に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 教材文の下等に、思ったこと、考えたこと等を自由に記述する「つぶやき」の欄を設けている。 ○ 「Plus」に、直前の教材に関する話し合いの具体的な流れを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・メモを基に友達と話し合しましょう。 ・自分とはちがう考えも、しっかり聞きましょう。 ○ 教材名「風評被害」 <ul style="list-style-type: none"> ・②について、グループで話し合ってみましょう。 ○ 「つぶやき」 ○ 「探究の対話「p4c（ピーフォーシー）」「対話の流れ」 <ul style="list-style-type: none"> ・p4cのルールに沿って対話をしましょう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「さあ、道徳を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりの「学びの道しるべ」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 「ひろば」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、話し合う」 <ul style="list-style-type: none"> ②自分の考えをもとう。 ③友達と意見を出し合い、多様な考えを知ろう。 ○ 「話し合いのポイント」 <ul style="list-style-type: none"> ・考えの持ち方 ・友達の意見の聞き方 ○ 教材名「おはよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「形だけの挨拶をする」のと、「黙っていても相手を思っている」のと、どちらがよいと思うだろうか。理由も含めて話し合おう。 ○ 「ソーシャルメディアのルールとマナー」 <ul style="list-style-type: none"> ・②そのあと、グループで話し合ってみましょう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1教材「道徳の学習を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 「道徳で大切にしたいこと」に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりに、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 「問いを立てよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 「今日の「てつがく」」に、話し合いの具体的な流れを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポイント2 自分と向き合い、他者と向き合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えのよさを見つけながら友達の意見に耳を傾けよう。 ○ 「友達と問い合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・友達は、どうしてそう考えるのか。 ○ 教材名「白いスニーカー」 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの人物の考えに対して、あなたは、どんなことを考えただろう。考えたことを、みんなで話し合おう。 ○ 教材名「親友」 <ul style="list-style-type: none"> ・③グループで作った問いについて話し合い、自分たちなりの答えを考えよう。 ○ 「今日の「てつがく」」 <ul style="list-style-type: none"> ①3、4人程度のグループをつくる。 ②今日、みんなで考えたい「問い」を決める。 ③それについて、考えていることを、一人ずつ発表する。 ④それぞれの考えについて、お互いに質問し合う。 ⑤今日話し合った問いについて、「なるほど！」と思える発見があったかを振り返る。
光 村		<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1教材「道徳の学習を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 「道徳で大切にしたいこと」に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりに、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 「問いを立てよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 「今日の「てつがく」」に、話し合いの具体的な流れを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポイント2 自分と向き合い、他者と向き合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えのよさを見つけながら友達の意見に耳を傾けよう。 ○ 「友達と問い合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・友達は、どうしてそう考えるのか。 ○ 教材名「白いスニーカー」 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの人物の考えに対して、あなたは、どんなことを考えただろう。考えたことを、みんなで話し合おう。 ○ 教材名「親友」 <ul style="list-style-type: none"> ・③グループで作った問いについて話し合い、自分たちなりの答えを考えよう。 ○ 「今日の「てつがく」」 <ul style="list-style-type: none"> ①3、4人程度のグループをつくる。 ②今日、みんなで考えたい「問い」を決める。 ③それについて、考えていることを、一人ずつ発表する。 ④それぞれの考えについて、お互いに質問し合う。 ⑤今日話し合った問いについて、「なるほど！」と思える発見があったかを振り返る。

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
日 文	○ 巻頭「道徳科での学びを始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや工夫例を示している。	○ 教材文の「学びを深めよう」に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや工夫例を示している。	○ 「どんなことするの」 ・いろいろなことをみんなで考え、話し合っ ていきましょう。 ○ 「みんなで話し合うときに大切なこと」 ・お互いの考えを伝え合おう ・友達の考えをよく聞こう ○ 「話し合いの工夫例」 ・発言した人に、その理由を聞いてみよう。 ○ 教材名「どうして？」 「話し合いの例」 ・自分の考えを発表する。 ・友達の意見を聞く。 ・再度よく考える。 「付箋を使って話し合いを深めてみよう」 ・ノートやタブレット端末を使い、付箋で 意見を整理しながら友達と話し合ってみ よう。
	○ 「ユニット」の中に、話し合う学習活動を促している。	○ 別冊「道徳ノート」の中に、話し合いの内容等を記述できる欄を設けている。	○ 「いじめと向き合う」 ・いじめが起きる背景や、自分や相手の心の 動きについても学びながら、みんなで考え、 話し合ってみましょう。 ○ 「道徳ノート」 1 自由記述欄 2 「自分にプラスワン」 3 「自分への振り返り」 4 「自由欄」
学 研	○ 巻頭「道徳科で学ぶこと 考えること」の中 に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを 示している。	○ 教材文の終わりの「深めよう」に、教材にお ける話し合いを促す発問を示している。	○ 「考える方法はいろいろ」 ・ペアやグループ、クラスで…… ○ 「考えを深める4つのステップ」 ・③話し合おう（話し合い、磨き合う）」 ○ 教材名「公平とは何だろう」 「話し合おう」 ・公平について、レーム選手の参加を巡っ て考えたことを基に話し合おう。 ○ 「メモ」
	○ 教材文の下に、気付いたことや思ったことを 書き留める「メモ」の欄を設けている。		

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
あ か 図		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりの「いろいろな見方で考える」等に、教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いろいろな見方で考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの仲間の考えを聞いて自分の考えと比べてみよう。 ○ 教材名「国際協力ってどういうこと？」 <ul style="list-style-type: none"> ・二つの作文から考えたことを話し合おう。 「いろいろな見方で考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・ネパールの話とエチオピアの話、あなたはそれぞれどう思うだろうか。他の人の意見も聞いて、考えてみよう。 ○ 教材名「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> 「いじめについて話し合ってみよう」 ・いじめが起きるのはどうしてだろう。また、いじめをなくすために大切にしたい心は何だろう。「魚の涙」を読んで考えたことを話し合ってみよう。 ・いじめが起きるのはどうしてだろう。狭い閉じた世界だと起きやすいのは、なぜだろう。次の三つの視点で、話し合ってみよう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや具体例を示している。 ○ 教材の終わりの「考えよう」「深めよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 教材文の終わりに、「memo」の欄を設けている。 ○ 巻末「ウェルビーイングカードとは」の中に、話し合いのポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業はどうやって進めるの？」 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの考え、意見をしっかり聞こう ○ 「「ウェルビーイングカード」を使ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・③それが終わったらカードを三枚とも手元に並べ、隣の友達または班の友達と、それぞれが考えたことを出し合しましょう。そして、友達の話聞いた後で、「考えが変わったこと」「新たに気づいたこと」があったら、そのことについて、さらに話し合ってみましょう。 ○ 教材名「ガラスの地球を救え」 <ul style="list-style-type: none"> ・「ガラスの地球」を救うために私たちにできることは何か、話し合しましょう。 ○ 「memo」 ○ 26枚のカードから選び、その理由と合わせて隣の友達または班の友達と共有します。いきなり何もなかったら発言するのではなく、カードをきっかけにすることで話しやすくなったり、カードを組み合わせて考えることでいくつかの視点から自分を見つめ直すことができたりします。
日 科			

【道徳】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
方法	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、記入欄の数等及び具体例

第3学年			
	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	記入欄の数等	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、今の気持ちについて、書く欄を設けている。 ○ 学びの途中で思ったこと、考えたこと等について、書く欄を設けている。 ○ 教材やコラム等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末に、授業の取組や心に残った教材等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1年間で学ぶこと」 【1回分】 ○ 「つぶやき」 【38回分】 ○ 「Plus」等 【10回分】 ○ 「自分の学びをふり返ろう」 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっとすてきな「自分」に出会うために、3年生になってやってみたいことは、どのようなことですか？今の気持ちを書き留めておきましょう。 ○ 思ったこと、考えたことなどを、自由に記述しましょう。 ○ 教材名「いじめから目をそむけない」 コラム「忘れられる権利」 コラム「働くってどんなこと」 教材名「人間の命とは」 教材名「避難所での出来事」 コラム「おたがいの「ちがひ」を認め合おう」 教材名「その子の世界、私の世界」 コラム「人にもものを、どうたのむ？」 コラム「缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう」 教材名「住み続けられるまちづくりを」 ○ 「自分の学びをふり返ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組みについてふり返ってみよう。 ・今学期（今期）に読んだ教材の中で、心に残ったものは何ですか。どのようなことが心に残っていますか。

【道徳】

		第3学年	
考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方		記入欄の数等	具体例
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材やコラム等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末に、一年間で学んできたことをもとにして考えるページを設けている。 ○ 巻末に、心に残った教材や一番考えさせられた教材等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」等【3回分】 ○ 「「よりよく生きる」って、どういうことだろう？」【1回分】 ○ 「道徳科の学びを振り返ろう」【3回分】 ○ 「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」【1回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コラム「信頼関係を築こう」 教材名「変わりゆく地球」 教材名「校長先生の模擬面接」 ○ 一年間道徳科で学んできたことをもとにして、「よりよく生きる」とはどうか、考えてみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとっての「幸せ」とは、どういうものだろう。 ・周りの人や社会にとっての「幸せ」とは、どういうものだろう。 ○ 「道徳科の学びを振り返ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・今学期（今期）の道徳授業で「ためになった」「勉強になった」「心に残った」などと思う教材を三つ選び、記入しましょう。 ・①で選んだ教材の中でいちばん考えさせられた教材を選び、その理由と、授業後に授業で学んだことに関係する経験などがあったら書きましょう。 ○ 「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・3年生になった時に思った「学びたかったこと」「がんばりたかったこと」は実行できましたか。1年間で振り返って書きましょう。 ・1年間の道徳授業を通じて、自分が成長したと思うことを書きましょう。
	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の終わり等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末折り返みに、心に残ったことや1年間の学習の振り返り等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」等【6教材分】 ○ 「まなびの記録」【2回分】 【毎時間分】

【道徳】

第3学年			
	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	記入欄の数等	具体例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 別冊「道徳ノート」に、自分の考えや友達の意見等を書く欄を設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業や考えたこと等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1」 「2 自分にプラスワン」 「3 自分への振り返り」 「4 自由欄」 【教材ごと】 ○ 「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「3 自分への振り返り」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分に関わりのあることとして、考えることができた ・教材の内容や友達の意見から、新しく気づいたことがあった ○ 「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・今学期、ノートに書いたことや道徳科で学んだことを振り返り、心に残っている授業やその理由を書いてみよう。 ・これまで道徳科で学んだことを振り返って、考えたことを書いてみよう。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、テーマについて書く欄を設けている。 ○ 教材の終わりの「深めよう」等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 学びの途中で気付いたことや思ったこと等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末に、心に残った言葉や友達や身近な人に伝えたい言葉等を記入するページを設けている。 ○ 巻末に、授業での取組や心に残った授業等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さまざまなテーマで学ぼう」 【1回分】 ○ 「深めよう」等 【9教材分】 ○ 「メモ」 【30回分】 ○ 「未来への扉」 【1回分】 ○ 「学びの記録」 【3回分】 ○ 「学びのメモ」 【毎時間分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今、気になっていること、夢中になっていることは何だろう。 ○ 教材名「○○流デジタルライフ」 教材名「余命ゼロ 命のメッセージ」 教材名「笛」 教材名「一冊のノート」 教材名「電車の中で」 教材名「境界線を越える」 教材名「領民を愛した名君 上杉鷹山」 教材名「礼儀って」 教材名「スポーツの力」 ○ 気付いたことや思ったこと書き留める。 ○ 「1年を振り返って書き留めておこう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・心に残った、友達や先生の言葉 ・友達や身近な人に伝えたい言葉 ○ 「今学期（今期）の道徳の授業について、振り返ろう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組みで、当てはまる場所に○を付けよう。 ・心に残った授業について書こう。 ○ 「日々の授業について、気づいたことを書き留めておこう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの振り返りや、1年の振り返りに生かそう。

【道徳】

第3学年			
	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	記入欄の数等	具体例
あか図	○ 巻末に、授業での取組や心に残った授業等を記入するページを設けている。	○ 「学習の記録」 【3回分】 ○ 「1年間の学習の記録」 【1回分】	○ 「今学期（今期）の道徳科の授業について振り返ってみよう。」 ・授業での自分の取り組みについて振り返って、当てはまるものに○をつけよう。 ・今学期（今期）、心に残った授業とその理由について、書いてみよう。 ○ 「1年間の道徳科の授業を振り返ってみよう。」 ・今年度、最も深く考えた授業と、その理由について書いてみよう。 ・1年間の道徳科の授業を通して、学んだことや、自分が成長したと思うことを書いてみよう。
日科	○ 学びの途中で考えたことや教材の終わり等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末に、自分自身が思いついた「ウェルビーイング」のキーワードを書く欄を設けている。	○ 「欄」 【4教材分】 ○ 「memo」 【33回分】 ○ 「ウェルビーイングカード」 【1回分】	○ 教材名「そっと生きる？」 教材名「愛ってなあに」 教材名「SNSでの誹謗中傷」 教材名「人はなぜ仕事をするのか」 ○ 「memo」 ○ 「「ウェルビーイングカード」とは」 ・最後に白紙のカードを用意しました。それには、自分自身が思いついた「ウェルビーイング」のキーワードを書いてみるのもいいでしょう。

【道徳】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤問題解決的な学習を取り入れた工夫
方法	問題解決的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程

	問題解決的な学習の示し方	第2学年	
		教材名・内容項目	学習過程
東 書	○ 「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ みんなでとんだ！ ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」	○ 「Plus」 探究の対話「p4c（ピーフォーシー）」 ・【対話の流れ】みんなで輪になり、こしかけましょう。 ①「みんなとんだ！」を読み、各自が問いを立てましょう。 ②みんなで考えたい「問い」を決定し、問いに対する自分の考えを書きましょう。 ③p4cのルールに沿って対話をしましょう。 ④さらに問いを出し合いながら、対話を楽しみましょう。 ⑤話し合いをふり返りましょう。
教 出	○ 教材文の終わりの「学びの道するべ」に、学習過程の例を示している。	○ 違反摘発 ○ 「C 遵法精神、公德心」	○ 「学びの道するべ」 ・両者の立場になって、違反摘発に対する思いを代弁してみよう。 ・どんな場合でも、法やきまりは優先されるべきなのだろうか。 ・法やきまりは、誰のために、なんのためにあるのだろうか。

	問題解決的な学習の示し方	第2学年	
		教材名・内容項目	学習過程
光 村	○ 教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ テニス部の危機 ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」	○ テニス部の危機を乗り越えるために、白石さんと木戸さんは、どうすればよいのだろうか。次のステップに沿って考えてみよう。 「問題を明らかにする」 ①白石さんと木戸さん、それぞれの思いを洗い出す。 ・二人が目ざすテニス部の姿は、それぞれ、どのようなものか。 ・二人に共通する思いはあるか。 ・それぞれの譲れない条件、譲れる条件は、何か。 「解決策を提案する」 ②①で洗い出したことをもとに、解決策を考える。 ・互いに歩み寄れるところはあるか。 ・どうすれば、互いに「まあ、これなら。」と、納得できる解決策になるか。 「解決策を検討する」 ③②で考えた解決策を検討する。 ・その解決策を講じると、どんな結果になるか。 ・その結果は、二人や他の部員に対して、どんな影響があるか。 ・解決策を実行することで、テニス部は、よりよい集団になることができるか。 ○ よりよい集団の一員として、どのような考えをもつことが大切なのだろう。
日 文	○ 「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ ヨシト ○ 「C 公正、公平、社会正義」	○ 「学びを深めよう」 ①「ヨシト」では何が問題になっているのか、考えてみよう。 ②ヨシトにティッシュを渡した「僕」は、どんなことに気づいたのだろうか。 ③周りに流されたり自分と異なる人を排除したりして、公正な態度がとれないことがあるのは、なぜだろう。 ④公正な態度を貫くために大切なことをまとめてみよう。

【道徳】

	問題解決的な学習の示し方	第2学年	
		教材名・内容項目	学習過程
学 研	○ 「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅 ○ 「A 節度、節制」	○ 「深めよう」 自分の生活を見直してみよう 「見つけよう」 高梨沙羅選手が日々の生活で気を付けていることを見つけてみよう。 「考えよう」 高梨選手はなぜ「天才」と呼ばれるまでに成長することができたのだろうか。 「話し合おう」 自分の目標を達成するためには、日々の生活の中でどのような心掛けが必要だろうか。 「生き方につなげよう」 高梨選手がスキージャンプのために行う日課から、自分に生かせることを考えてみよう。 ・大切にしている生活習慣やこれから心掛けたい生活習慣について考えよう。
あ か 図	○ 「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 北の大地から 野生の猛禽を守る ○ 「B 相互理解、寛容」	○ 「マイ・プラス」 意見の対立について話し合ってみよう ・集団の中で生活をしていると、意見の対立が起きることがある。意見の対立を乗り越えて問題を解決していくためには、どのようなことが必要なのだろう。皆で話し合いながら、齊藤さんの体験を深く掘り下げてみよう。 「ステップ1」 齊藤さんとハンターの立場を想像しながら、それぞれの主張と理由を考えてみよう。 「ステップ2」 考え方の違う者同士が歩み寄るためには、どのような考えをもつことが必要だろう。いろいろな意見をあげてみよう。 「ステップ3」 自分とは異なる意見をもつ人に直面したとき、あなたはどのような態度で接することが大切だと思うだろうか。齊藤さんの対応を振り返りながら、自分自身で考えたことをまとめてみよう。
日 科	○ 教材文の終わりの「考えよう」「深めよう」に、学習過程の例を示している。	○ 「普通」の生活の向こう側 ○ 「C 国際理解、国際貢献」	○ 「考えよう」 ・なぜ児童労働はなくなるのでしょうか。 ○ 「深めよう」 ・世界中の子どもを誰一人取り残さないために、私たちができることは何でしょうか。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥体験的な学習を取り入れた工夫
方法	体験的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程

	体験的な学習の示し方	第3学年	
		教材名・内容項目	学習過程
東 書	○ 「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 缶コーヒー ○ 「C 遵法精神、公德心」	○ 「Plus」 缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう ①「缶コーヒー」で、コーヒー缶が転がって、「私」のスカートとノートがよごれてしまったとき、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下のふき出しに書きましょう。 ②3人一組になって、「女性」役、「私」役、「竹内さん」役と、役割を決めましょう。 ③役を交替しながら、全員が全ての役を演じましょう。 ④それぞれの役を演じて、気づいたこと、感じたことを書きましょう。 ⑤コーヒー缶が落ちそうになっているときに、「女性」と「私」は、本当はどうすればよかったのでしょうか。それを見て、「竹内さん」は、何と言ったのでしょうか。考えて書きましょう。 ⑥⑤で考えたことを基にして、3人でそれぞれの役を演じてみましょう。 ⑦本当はどうすればよいのかを、クラス全員で話し合ひましょう。 ⑧今日の学習をふり返り、気づいたこと、感じたことを書きましょう。
教 出	○ 「やってみよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 校長先生の模擬面接 ○ 「B 礼儀」	○ 「やってみよう」 ①社会にはさまざまなマナーやエチケットがあります。どのようなものがあるか、あげてみましょう。 ②皆さんがあげた中から、グループで一つの場面を演じてみましょう。そして、演じてみた感想を書きましょう。 ③マナーやエチケットは、社会状況によっても変化します。例えば、新型コロナウイルス感染症が広まってからは、エレベーターの中では会話を控え、壁の方を向いて立つことが広まりました。最近になって変化してきたと皆さんが感じるマナーやエチケットはありますか。なぜ変化してきたのか、みんなで話し合ひてみましょう。

【道徳】

	体験的な学習の示し方	第3学年	
		教材名・内容項目	学習過程
光 村	○ 「チャレンジ」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 三年目の「ごめんね」 ○ 「A 自主、自立、自由と責任」	○ 「チャレンジ」 演じて考えよう ・「あのときはうれしかった。ありがとう。」と言う伊藤さんを見て、「私」は、どんなことを思っただろう。 ①「私」と伊藤さんになって、42 ページ（19 行目）から 43 ページ（9 行目）の場面を演じてみよう。 ②演じているのを見ていた人は、どんなことを感じたかを発表しよう。 ③演じた人は、演じていたときに、どんな気持ちになったかを発表しよう。
日 文	○ 「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 電車の中で ○ 「B 思いやり、感謝」	○ 「学びを深めよう」 電車の中で ・席を譲る体験を通して、思いやりの心と形について考えてみよう。 ①タケシは、席を譲られた男性と女子二人の様子を見ながら、何を思ったのだろう。 ②ケンたちに言われてしぶしぶ席を立ったとき、タケシはどんな気持ちだったのだろう。 ③座っていて席を譲りお礼を言われる場面と、座らずに席を空けておいてお礼を言われる場面を演じてみよう。 ④タケシは、席に座らずにいた自分たちの行為と、席を譲った女子二人の行為を比べて、何を考えたのだろう。 ⑤思いやりの心と形について、考えたことをまとめてみよう。

	体験的な学習の示し方	第3学年	
		教材名・内容項目	学習過程
学 研	○ 「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 笛 ○ 「B 相互理解、寛容」	○ 「深めよう」 異なる意見と出合ったときのことを考えよう 「考えよう」 笛は誰のものにすべきだったろう。3人の少年アンドレ、マイケル、ピート、それともそれ以外の人だろうか。○を付けて、理由を書こう。 「やってみよう」 少年たちが笛を誰のものにするか話し合っている場面を、4人組で役割演技を行って演じてみよう。 ① 3人の少年役(アンドレ、マイケル、ピート)と仲介役を決める。3人の少年は自分の立場から考えを話す。仲介役は3人の話を聞き、解決できるように自分の考えを伝える。 ② 役割を交代する。4人の役を全員が経験するまで繰り返す。 ③ 4人それぞれの仲介役の演技から考えたことを話し合う。 「話し合おう」 考えや意見の異なる人とのつきあいでは、どんなことを大切にすればよいだろう。クラス全体で話し合おう。 「生き方につなげよう」 異なる意見を尊重しつつ、自分も成長していくにはどうすればよいか、考えよう。

	体験的な学習の示し方	第3学年	
		教材名・内容項目	学習過程
あか図	<p>○ 「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。</p>	<p>○ 夢へのステップー大谷翔平 ○ 「A 希望と勇気、克己と強い意志」</p>	<p>○ 「マイ・プラス」 夢へのステップについて考えよう ・高校生のときに「目標設定シート」を書いて、自分の部屋に貼っていた大谷翔平選手。このシートを書くことが、大谷選手にどのような影響を与えたのでしょうか。もし自分が書くとしたら……と、想像しながら考えてみましょう。 「ステップ1」 大谷選手は「目標設定シート」を書くことで、どのようなことを考えたのだろうか。 ・「目標設定シート」を書き上げるには、どういうところに難しさや大変さがあるのだろうか。 ・大谷選手は、どのようなことを考えながら「目標設定シート」を書き上げたのだろうか。 ・書き上げるだけでなく、自分の部屋に貼っていたのはどのような考えからだろう。また、どのような思いでシートを見て、過ごしていたのだろうか。 「ステップ2」 あなたが大谷選手から学べることについて考えてみよう。 ・尊敬するところ、頑張ればまねできそうなこと、自分の感じたことや考えたことをあげてみよう。</p>
日科	<p>○ 教材文の終わりの「考えよう」「深めよう」に、学習過程の例を示している。</p>	<p>○ Flower Bus Stop ○ 「A 自主、自立、自由と責任」</p>	<p>○ 「考えよう」 ・「ちゃんとしよう」の「ちゃんと」というのはどうすることなのでしょうか。 ○ 「深めよう」 ・あなたがこの4人と一緒にいたら、どの場面でどのような行動をしますか。</p>

【道徳】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦分量や教材の数
方法	判型、ページ数及び4つの視点ごとの教材数

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数 (※複数内容項目教材)			
				A	B	C	D
東書	第1学年	A B	202	7	7	14	7
	第2学年		210	7	7	14	7
	第3学年		210	7	7	14	7
教出	第1学年	B 5	210	8	8	12	7
	第2学年		202	8	7	14	6
	第3学年		202	7	6	13	9
光村	第1学年	B 5 変型	192	9※	8※	14※	10※
	第2学年		200	9※	9※	14※	9※
	第3学年		200	11※	8※	13※	9※
日文	第1学年	B 5 (B 5)	178(42)	7	7	14	7
	第2学年		186(42)	6	7	14	8
	第3学年		194(42)	7	6	15	7
学研	第1学年	A B	190	8	7	13	7
	第2学年		194	8	7	12	8
	第3学年		198	8	7	13	7
あか図	第1学年	B 5	194	8	7	12	8
	第2学年		194	8	7	12	8
	第3学年		194	8	7	12	8
日科	第1学年	A B	164	8	7	13	6
	第2学年		168	7	6	15	6
	第3学年		172	9	7	14	4

【道徳】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	いじめの問題の扱い及び教材等の例

	いじめの問題の扱い	教材等の例 (第1学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめのない世界へ」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、「いじめのない世界へ」マークを使い、目次に色付けして示し、扉ページを設けている。 ○ 巻末の「テーマでふり返ろう」に、「人権・いじめ」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめのない世界へ」(扉ページ) ○ 「いじめに当たるのはどれだろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・だれに対しても公正な社会を実現するために、大切なこと等を考えさせる教材 ○ 「傍観者でいいのか」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 自主、自律、自由と責任」 ・いじめの状況を作らないために、どうすればよいか等を考えさせる教材 ○ コラム「いじめの構造」 ○ 「風評被害」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解、寛容」 ・相手のことを認められるようになること等について考えさせる教材
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくそう」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、「いじめをなくそう」マークを使い、目次に色付けして示している。 ○ 巻頭の「この教科書で学べるテーマ」に、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「二人の言い分」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解、寛容」 ・いじめを生まないためにどうすればよいか、トラブルが起こってしまったらどうすればよいか等を考えさせる教材 ○ コラム「自分も相手も大切にしたい伝え方をしよう」 ○ 「あなたならどうしますか」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・いじめをなくすために今すぐにでもできること等を考えさせる教材 ○ コラム「誰がいじめを止めるのか」
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした3つの教材でユニット化した「いじめを許さない心について考える」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、「いじめを許さない心について考える」と記載し、目次に緑色の下線で示している。 ○ 巻末の「教材別テーマ一覧」に、「いじめを許さないために」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「親友」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・心から信頼できる友達とは、どんな存在なのか等を考えさせる教材 ○ 「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・誰かが不公平な状況にあるとき、どんな考えがもてるかを考えさせる教材 ○ 「いつもの教室の中で」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・いじめが起こらないようにするためには、どうすればよいか等を考えさせる教材
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめと向き合う」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとまりには、「いじめと向き合う」マークを使い、目次に色付けして複数示している。 ○ 巻末の「内容項目別教材一覧」に、「いじめ」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめと向き合う」(扉ページ) ○ 「さかなのなみだ」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・いじめのない集団であるためには、どんなことが大切か等について考えさせる教材 ○ コラム「いじめって何？」 ○ 「言葉の向こうに」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解、寛容」 ・お互いの立場を理解し尊重するとは、どういうことか等について考えさせる教材 ○ コラム「怒りの感情と上手に付き合おう」

【道徳】

	いじめの問題の扱い	教材等の例 (第1学年)
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした複数の教材を特設ページとともに年間を通して配置している。 ○ 巻頭の「さまざまなテーマで学ぼう」に、「いじめ防止」をテーマとして示すとともに、いじめの問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを使い、該当ページに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「うわさで決めるの？」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・友達に対して偏見をもたないようにするために、どうしたらよいか等について考えさせる教材 ○ 「あるピエロの物語」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 友情、信頼」 ・どのような友情を築きたいと思うか等について考えさせる教材 ○ 「裏庭での出来事」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 自主、自律、自由と責任」 ・自分自身がよく考え、誠実に行動するために必要なこと等について考えさせる教材 ○ 特設ページ「どうしてそんなことをするの」 ○ 「吾一と京造」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・真の友情を培っていくために必要なことは何か等について考えさせる教材
あ か 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめ」を考える」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとめには、「いじめ」を考える」マークを使い、目次に色付けして示している。 ○ 巻頭の「いろいろなテーマから学ぼう」に、「いじめ」を考える」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめ」を考える」(扉ページ) ○ 「ヨシト」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・集団に流されてしまう弱さを乗り越えるためには、どのようなことが大切なのか等について考えさせる教材 ○ 「ある日のバターボックス」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・子どもたちがこのルールを作ったのは、どのような気持ちからか等について考えさせる教材 ○ 「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「D よりよく生きる喜び」 ・いじめのない世界にするために、特に大切にしたいこと等について考えさせる教材 ○ コラム「いじめ」と向き合う」
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした複数の教材を配置している。 ○ 巻頭の「さまざまなテーマから考えを深めよう」に、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自由ってなあに」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 真理の探究、創造」 ・自由とは何か等について考えさせる教材 ○ 「いつも一緒に」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・よりよい友人関係を築くために大切なこと等について考えさせる教材 ○ 「いじめ問題と向き合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・なぜいじめがなくなるのか等について考えさせる教材 ○ 「未来を創るために～マララ・ユスフザイ「国連スピーチ」～」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・公平で公正な社会を作っていくために、私たちが今からできること等について考えさせる教材

【道徳】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨巻頭等、巻末等の取扱いの工夫
方法	巻頭等、巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりに色付けするとともに、「付録について」等を示している。 ○ 各学年、「1年間で学ぶこと」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳科とは」を4ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「教材一覧表」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「テーマでふり返ろう」を1ページで示している。 ○ 各学年、「自分の学びをふり返ろう」を設けている。 ○ 各学年、心情円を付録として設けている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けした教材番号とともに、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりを色付けするとともに、「教科書に出てくるマーク」等を示している。 ○ 各学年、「さあ、道徳を始めよう！」を3ページにわたって示している。 ○ 各学年、「この教科書で学べるテーマ」を1ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「「よりよく生きる」って、どういうことだろう？」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「一年間の道徳科で学んだこと」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「内容項目別教材一覧表」を1ページで示している。 ○ 各学年、「道徳科の学びを振り返ろう」、「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」を設けている。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりに下線を引くとともに、「教材の冒頭に付いている印」等を示している。 ○ 各学年、「本書で学ぶ皆さんへ」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年は「日本の郷土玩具」を見開き2ページ、第2学年は「郷土と共に生きる」を3ページ、第3学年は「日本の先駆者たち」を4ページで示している。 ○ 各学年、「まなびの道具箱」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「教材別テーマ一覧」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「先生方・保護者の方々へ この教科書が目ざした〇年生の姿」を1ページで示している。 ○ 各学年、「まなびの記録」を設けている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、学年ごとのテーマ等を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりを色付けするとともに、「この本で学ぶあなたへ」等を示している。 ○ 各学年、「道徳科での学びを始めよう！」を4ページにわたって示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、掲載している全ての教材名等及び「ノートの使い方」を示している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、「「よりよく生きる」ために大切な内容」等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「内容項目別教材一覧」を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、「フリーノート」を1ページ設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、「内容項目別教材一覧」等を1ページで示している。

【道徳】

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、先人の言葉を見開き2ページで掲載している。また、「さまざまなテーマで学ぼう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりを色付けするとともに、「教科書に使われているマーク」等を示している。 ○ 各学年、「よりよく生きるための22の鍵」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳科で学ぶこと 考えること」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「未来への扉」を1ページ設けている。 ○ 各学年、「学びの記録」「学びのメモ」を設けている。 ○ 各学年、「教材と主題名、デジタルコンテンツ」を1ページで示している。
あ か 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりを色付けするとともに、「教材の冒頭についているマーク」等を示している。 ○ 各学年、「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「いろいろなテーマから学ぶ」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「SDGsの視点から 持続可能な社会に向けて」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「ふるさとに学びを広げよう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年「内容一覧」を1ページで示している。 ○ 各学年、「学習の記録」「1年間の学習の記録」を設けている。
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名、「この教科書にあるマーク」等を示している。 ○ 各学年、「さまざまなテーマから考えを深めよう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「クラスのみんなど「道徳授業」を創り出そう」を3ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「わたしたちの郷土」を3ページで示している。 ○ 各学年、「ウェルビーイングカードとは」を1ページで示している。 ○ 各学年、ウェルビーイングカードを設けている。

【道徳】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩教材の内容を理解させる工夫
方法	マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方及び活用の具体例

	マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方	活用の具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「P l u s」のマークを設定している。 ○ 「つぶやき」のマークを設定している。 ○ キャラクター「考えタイガー」を設定している。 ○ 「SDG s」のマークを設定している。 ○ 「いじめのない世界へ」「いのちを考える」のマークを設定している。 ○ 「朗読音声」「ワークシート」「Webサイト」「資料」「VR映像」「心情円」「映像」「他教科リンク」のマークを設定し、二次元コード等とともに示している。 ○ 「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、「1年間で学ぶこと」、教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、コラムのページとして示している。 ○ 教材の下に、思ったことや考えたこと等を書き込む欄として示している。 ○ 教材の終わり等で、問い等を示している。 ○ 目次に、SDG sと関連して考えられる教材を示している。また、該当ページの右下に、17のゴールのうち、関連するいくつかのゴールを示している。 ○ 目次に、ユニットを示している。 ○ 「デジタルコンテンツで学びを広げよう」や教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等とともに関連するマークを示している。 ○ 「映像」「心情円」等のデジタルコンテンツについて、写真やイラスト等とともに示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 導入の問いをマークで示している。 ○ 「学びの道しるべ」のマークを設定している。 ○ 「ひろば」のマークを設定している。 ○ 「やってみよう」のマークを設定している。 ○ 「SDG s」のマークを示している。 ○ ユニット学習「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちがかがやかせる」のマークを設定している。 ○ 「まなびリンク」のマークを設定し、二次元コード等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材名の右下に、学習の見とおしをもったり、学習テーマを共有したりするための問いを示している。 ○ 教材文の終わりに、問いを示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、コラムのページとして示している。 ○ 目次、該当ページに、体験的な学習として示している。 ○ 「道徳科の学びをもっと広げよう」等に、教材とSDG sとの関係を示している。 ○ 目次に、ユニットを示している。 ○ 目次、教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。

【道徳】

	マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方	活用の具体例
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「やってみよう」「チャレンジ」「まなびをプラス」「コラム」「まなびの準備」のマークを設定している。 ○ キャラクター「とくまる」を設定している。 ○ 「SDGs」のマークを設定している。 ○ 「教科」のマークを設定している。 ○ 二次元コードを示している。 ○ 「本書で学ぶ皆さんへ」のページ内で、デジタルコンテンツの使い方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次、該当ページに、てびきとして示している。 ○ 「道徳 道案内」、教材文の終わり等で、問い等を示している。 ○ 目次、教材の終わり等に、教材とSDGsとの関わりについて示している。 ○ 目次、教材の終わり等に、他教科との関わりについて示している。 ○ 目次、「本書で学ぶ皆さんへ」及び該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。 ○ 「朗読」「資料」等のデジタルコンテンツについて、イラストや写真等とともに示している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「考えてみよう」「自分に+1」のマークを設定している。 ○ 「あすへのメッセージ」「視野を広げて」のマークを設定している。 ○ 「学びを深めよう」のマークを設定している。 ○ 「いじめ」「情報社会」「自立と共生」「環境と未来」「安全な生活」のマークを設定している。 ○ ユニット学習「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」のマークを設定している。 ○ 二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材の終わりに、問いを示している。 ○ 目次、該当ページに、コラムのページとして示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、学習の流れと、学びのヒントとして示している。 ○ 目次、「視野を広げて」のページに、関連するテーマを示している。 ○ 目次、各ユニットの扉のページに、ユニットとして示している。 ○ 目次、教材名の下、別冊「道徳ノート」の教材名の右上等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。

【道徳】

	マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方	活用の具体例
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「考えよう」のマークを設定している。 ○ 「クローズアップ」のマークを設定している。 ○ 「深めよう」のマークを設定している。 ○ 「キャリア」「情報モラル」「いのち」「多様性」「環境」「家庭連携」「いじめ防止」「消費者教育」「スポーツ」「安全」「伝統文化」「グローバル」「健康」「法教育」のマークを設定している。 ○ ユニット学習「SDGs」「キャリア」「多様性」のマークを設定している。 ○ 「メモ」のマークを設定している。 ○ 「!」「?」のマークを設定している。 ○ 二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、教材名の上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材文の終わりに、問いを示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、関連情報として示している。 ○ 目次、該当ページの左上に、学びの提案として示している。 ○ 「さまざまなテーマで学ぼう」、教材名の下等に、関連するマークを示している。 ○ 目次、各ユニットの扉のページに、ユニットとして示している。 ○ 教材の下に、気付いたことや思ったこと等を書き留める欄として示している。 ○ 教材の下に、考えるきっかけを示している。 ○ 目次、該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。
あ か 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「Thinking」のマークを設定している。 ○ 「マイプラス」のマークを設定している。 ○ 「SDGs」のマークを示している。 ○ ユニット学習「「いじめ」を考える」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会（2・3年生）」のマークを設定している。 ○ 二次元コード等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」及び教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次、該当ページの右上等に、コラムのページとして示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、いろいろな視点から、考えを深めるページとして示している。 ○ 巻末付録の中に、教材とSDGsとの関係を示している。 ○ 目次、各ユニットの扉のページに、ユニットとして示している。 ○ 目次、該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「ウェルビーイングカードマーク」を設定している。 ○ 二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次、該当する教材名の下等に、巻末のカードが活用できることを示している。 ○ 目次、該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。